

令和6年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	10	議席 番号	6	氏名	中野 健太郎 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	明星山公園の再整備 について	<p>供用開始から40年以上が経つ明星山公園について、令和6年度は再整備に向けた実施計画の策定作業が進められている。中心市街地から程近いアクセスの利便性と自然豊かで富士山や駿河湾が一望できる風光明媚なロケーションは、富士宮市が市内外に誇るべき存在であり、再整備には大いに期待するところである。</p> <p>さらなる魅力向上を図ることで、緑豊かな憩いと交流の空間として多くの市民に親しまれ、賑わいあふれるまちづくりに大きく寄与するものと捉え、以下質問する。</p> <p>(1) 基本設計の概要について。</p> <p>(2) 再整備全体にかかる総事業費の見込みについて。</p> <p>(3) 住民の合意形成のため、市民との協働、連携による計画づくりを提案するが、いかがか。</p> <p>(4) 公園の魅力向上に向けた官民連携の手法として、Park-PFI制度の導入が効果的と考えるが、いかがか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	人口減少社会における 業務改善の在り方について	<p>人口減少社会の到来は、人口減に伴う税収減少だけでなく、行政サービスの担い手である地方公務員の不足も懸念されている。令和6年度の施政方針では、財政運営は「事務事業の見直しによって経常経費の増加を最小限に抑え、限られた財源を効率的かつ効果的に活用していく」と示されている。一方、現実の業務は市民の利便性を優先することが求められ、DX化が進む現在も、職員は業務の煩雑化、多様化によって負担増加の状況にあり、「選択と集中」（令和6年度当初予算提案理由）に苦勞していると推察する。</p> <p>今後、行政サービスを維持するためには、時代に合わせた自治体運営に変化したり、先読みしたニーズへの合致とサービス提供に必要なイノベーションを計画、実行することで、業務の在り方や職員の負担の在り方を再検証する必要があるとの考えから、以下質問する。</p> <p>(1) 市職員の時間外勤務の実態について。</p> <p>(2) 職員を対象にしたストレスチェックの結果について。</p> <p>(3) 事務事業の総数の推移と事務事業総点検（内部評価）の実施について。</p> <p>(4) 新たな行政課題を含め全ての事務事業は、慣例にとらわれることなく公共の関与の是非を念頭に、スクラップアンドビルドの考え方を導入し、業務改善を一層前進させるべきと考えるが、いかがか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長